

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	当院におけるがん化学療法に伴う末梢神経障害に対する薬物療法介入の強化に向けた使用状況調査		
1. 研究の目的と方法	がん化学療法に伴う末梢神経障害（CIPN）は、患者のQOL（生活の質）を著しく低下させる重要な有害事象であり、化学療法終了後も残存し、疼痛管理を難渋させる要因となります。しかし、CIPN治療薬の使用状況は様々であり、治療介入が遅延している可能性もます。本研究では、CIPNに対する薬物療法の実施状況を明らかにすることで早期のCIPN治療介入点を模索することを目的としています。 方法としては2023年6月～2025年6月に、当院にてCIPN誘発抗がん薬（白金製剤、タキサン系）の投与を受けた患者を対象とし、電子カルテを用い、年齢、性別、診療科、抗がん薬の種類、CIPN治療薬の使用状況（使用率、種類、併用数）、薬剤師外来の介入状況について後方視的（後ろ向き）に調査を予定しております。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年7月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2023年6月1日～2025年6月30日までに、東京慈恵会医科大学西部医療センターにてCIPN誘発抗がん薬（白金製剤、タキサン系）の投与を受けた18歳以上の方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・ 研究対象患者の基本情報：年齢、性別 ・ 治療情報：診療科、抗がん薬の種類、CIPN治療薬の使用状況（使用率、種類、併用数） ・ がん外来薬剤師指導介入状況	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学西部医療センター
		氏名	茂原圭佑
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年5月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学西部医療センター 研究責任者：茂原 圭佑（しげはら けいすけ） 窓口担当者：茂原 圭佑（しげはら けいすけ） 電話番号：03-3480-1151（内線3602） 対応時間：平日8:30～17:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。